

令和7年度第1回岡山県地方独立行政法人評価委員会議事概要

- 1 日時 令和7年7月2日（水）10：00～12：00
- 2 場所 岡山県庁3階第2会議室
- 3 出席委員 萩原委員長、小田委員、戸田委員、秋山専門委員、桑原専門委員
- 4 議事
 - (1) 公立大学法人岡山県立大学 第3期中期目標の期間における業務の実績について
 - (2) 公立大学法人岡山県立大学 役員に対する報酬等の支給の基準の変更について
- 5 報告等
 - (1) 年度計画及び年度評価の廃止に伴う対応について
 - (2) 公立大学法人岡山県立大学 業務運営の状況について
- 6 発言要旨
 - (1) 公立大学法人岡山県立大学 第3期中期目標の期間における業務の実績について

委員発言要旨	大学・事務局発言要旨
・【資料1】の「第4 予算、収支計画及び資金計画」の「1 予算」と「3 資金計画」を見ると、運営費交付金の決算額が異なっているのはなぜか。	・おそらく四捨五入等の関係で差が生じたものと考えられる。
・「2 収支計画」の臨時利益は、臨時で収入があったのか、それとも会計上のものなのか。	・令和5年度に会計基準が変更され、これまで負債に計上されていた減価償却資産が純資産に計上されることとなり、損益計算書上で約17億円の利益が発生した。
・「2 収支計画」の目的積立金取崩額が予算額を下回っているが、積立金は、どの程度残っているのか。	・令和6年度末で約8億円となっている。
・適正な運営をしていくためには、県民の教育のためにどうしてもこういう資金が必要だということを議会等に説明していかなければならない。	/
・【資料1】の[37]学内ネットワークの更新が完了しなかった原因は何か。	・ネットワーク全体を一括して更新することにしてはいたが、入札が不調だったので分割して更新することにしたが、全体の完成が1年遅れてしまった。
・一括して導入しないと機能しないと業者に言われることがあるが、ネットワークを連携・統合させるよう工夫すれば全体を管理できるようになってきている。金額も大きいので、よく研究し、業者の手にのらないようにしていただきたい。	・事務職員の中に、ある程度ソフトウェアのことがわかっている者がいて、業者の手にのらないように交渉できる者がいればよいが、技術者を抱えておくとコストもかかるので、ある程度高くなるのは仕方ないと思っている。
・[4]の地域連携教育は、自己評価は「3」だが、成果指標で見ると目標を6年間で一度も上回っていない。数値的にはやや未達成だが、向上心を持った対応がなされているので「3」	・副専攻「吉備の杜」の取組などが評価できると考えている。成果指標の県内就職率は達成できていないが、計画の内容は地域連携教育の充実・改善なので、今後につながる仕組み

委員発言要旨	大学・事務局発言要旨
<p>としたのか。</p>	<p>を構築したことを評価した。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標と中期計画が合っていないからだと思う。数値で成果指標が出されると、それを基に判定していかないといけないが、次期計画ではどうなるか気になるところだ。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・県内就職率の全国平均は50%程度なので岡山県立大学は平均的だ。 ・県立大学だけでなく全国の公立大学では、授業料が低いので学生が全国から集まってくる。すると、県内出身ではない者にも交付金が充てられることになる。4年間は地元に着すが、地元に残るのではなく、また流出する。それでよいのかと思うことはある。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・[6]～[8]の大学院修了者の進路決定率は、目標が100%となっているが、1人進路が決まらなかっただけで未達成となってしまう。100%という数値は目標として適当なのか。目標を未達成だが、それを委員会としてどう判断するかということだと思う。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・[13]の志願倍率は、目標を未達成だが自己評価は「3」となっており、そこを委員会としてどう判断するかだ。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・[15]の附属図書館では、県立図書館の図書を借りることができる。これはすばらしいことだと思うが、ホームページを見ても大きく記載されておらず、あまり周知されていないのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の必修科目の中で附属図書館の説明を行っている。それとは別に、附属図書館自体のオリエンテーションも各学科別に開催しており、それらの中で説明していると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・[25]の科学研究費補助金は、採択率が記載されているが、[41]では獲得額が記載されている。採択率で見ると、年度によってばらつきがあるものの、平均値では目標に近い。一方で、獲得額は年々減少しており、第2期の平均より低くなっている。この原因をどのように分析しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書の添削支援では、どちらかというとな近の方が力を入れているはずだが、なぜか芳しくない結果が出ており、憂慮している。 ・おそらく、金額の大きい種目を申請する教員が減ったため、1件あたりの単価が下がっていると思われる。おそらく、金額の大きい種目を獲得するためにはグループをつくらなければならないが、本学ではそれを目指す教員が少ない。
<ul style="list-style-type: none"> ・[26]の共同研究費等の獲得は、実績が第2期よりも下がっている。この原因をどのように分析しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おそらく、大型の研究費を獲得していた教員が定年退職したことが原因の一つだと思われる。もう一つは、近年、教員の定員充足がままならず、教員数が減少しており、それが影響しているのではないかと考えている。 ・令和2年度と3年度の件数が少ないが、コロナの影響があったのではないかと考えている。

委員発言要旨	大学・事務局発言要旨
<ul style="list-style-type: none"> ・[32] の TOEIC は、何点伸びたかということだけを見てもあまり意味がなく、入学時の点数は学年によっても違うので、むしろ目標が何点なのかを示さなければならないのではないかと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・点数を一律に高く設定できない事情もある。情報工学部では、卒業後に国際的な仕事を求める者もあり、それなりに TOEIC の点数を高く設定してもいいと思うが、保健福祉学部やデザイン学部は、将来、英語が必要ないところに就職する者が多く、なかなか高く設定しにくい。
<ul style="list-style-type: none"> ・学生たちに必要なのは TOEIC なのか。実際に TOEIC の点数が高い者が英語でコミュニケーションをとれるかという点、そうではない。一つの目標値にはなりやすいが、TOEIC の点数のみで測るのはどうかと思う。 ・TOEIC など基礎力は大切だと思うが、楽しむということも大切だ。企業や社会で本当に求められている英語力とは何なのだろうと、いつも思っている。 ・企業でも、問題を自分で解決できる力を持った者は、そういう部署に配属したら、そこで自分自身で勉強していく。それが一番強い。自分の能力が高まることに喜びを感じる者は伸びていく。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・[39] の UI 戦略の策定・推進は、自己評価は「3」となっているが、発信をしっかりと行っているので「4」でもよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どこの大学もブランド力の向上に努めており、他の大学の模範となるほどではないので「3」にしている。ここはかなり力を入れなければならないところだが、本学のようにそれほど規模が大きい大学は、資金力もないので、大きく打って出るのは難しい。

(2) 公立大学法人岡山県立大学 役員に対する報酬等の支給の基準の変更について
意見なし

(3) 年度計画及び年度評価の廃止に伴う対応について

委員発言要旨	大学・事務局発言要旨
<ul style="list-style-type: none"> ・年度計画、年度評価が廃止されたので、次回の評価委員会の開催が令和 11 年度になるということだが、事務局はどのように考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・機会は貴重なもので、毎年度、委員の皆様からご意見をいただく場を設け、大学運営に生かしていきたいと考えている。
<ul style="list-style-type: none"> ・1年に1回、例えば7月頃に、リカレント教育や就職の状況など、テーマを絞って報告していただき、意見交換してもよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学が今どのようなことを行っていて、どのような課題があるのかということについて、ご意見ご助言をいただけるとありがたい。

(4) 公立大学法人岡山県立大学 業務運営の状況について
岡山県立大学から報告あり